

議案第 1 号 第 4 0 回九都県市合同防災訓練の実施について

令和元年 7 月 5 日 提出

船橋市防災会議会長 松 戸 徹

第 4 0 回九都県市合同防災訓練の実施について

1. 要 旨

防災意識の高揚と防災行動力の向上等を目的として、9 月 1 日の「防災の日」及び 8 月 3 0 日から 9 月 5 日までの「防災週間」を考慮した適切な日に、九都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市）で、防災関係機関と一体となった合同防災訓練を実施しております。

今年度は千葉県が中央会場を担うこと、又、中央会場を本市で実施することから、県と共催で、第 4 0 回九都県市合同防災訓練を令和元年 9 月 1 日（日）防災の日に高瀬町運動広場等にて開催することとなりました。

また、九都県市合同防災訓練の一環として、前週の令和元年 8 月 2 4 日（土）、2 5 日（日）に、本市が主体となった「避難所開設・運営訓練」、「物資輸送訓練」、「宿泊訓練」を実施し、千葉県警察や医療機関と協力して、「多数遺体取扱訓練」も実施する予定であります。なお、これらの各種訓練の実施状況については、訓練当日に撮影を行い、9 月 1 日の合同防災訓練会場のモニターに訓練映像を流す予定となっております。

2. 第40回九都県市合同防災訓練（中央会場）訓練計画概要書（抜粋）

第40回九都県市合同防災訓練（中央会場） ～訓練計画概要書～

- 1 実施日 訓練本番…2019年9月1日(日)9時30分～12時00分(予定)
 ※訓練終了後に閉会式
 予行演習…2019年8月29日(木)10時30分～13時00分(予定)
- 2 会場 高瀬町運動広場ほか

※実動訓練（被災者の救出救助などの事案対応）の場合



主催／千葉県・船橋市・公益財団法人千葉県消防協会

第40回九都県市合同防災訓練（中央会場） <訓練概要>

訓練目的	本訓練は、県や市、各防災機関が連携した救出救助や、自主防災組織を中心とした避難所運営などの実践的な訓練のほか、減災への備えや発災時の心得などを啓発する防災フェアを開催することで、自助・共助・公助の相互の繋がりを強化し、地域の防災力を向上することを目的とする。
日時	2019年9月1日（日）「防災の日」ほか（※個別訓練において周辺日での実施あり）
会場	船橋市高瀬町運動広場（実動訓練、防災フェア）ほか（※個別訓練において別会場での実施あり）
規模	参加機関（団体） 約110機関、参加人員 約5,000名（平成29年度・第39回の実績より）
想定地震	千葉県北西部直下を震源とするM7.3の大地震が発生し、船橋市では震度6強を観測するとともに強い揺れによる建物倒壊や液状化による道路損壊等が多数発生、下水道を含むライフライン機能も麻痺している。この地震により約1万9千棟の家屋が被災、約12万人に及ぶ被災者は避難所での生活を余儀なくされる。
訓練項目	<ul style="list-style-type: none"> 1 情報伝達・身体防護訓練 ※市内全域 <ul style="list-style-type: none"> (1) 緊急地震速報等伝達・シェイクアウト、近隣工場地域一時避難 2 実動訓練 <ul style="list-style-type: none"> (1) ヘリテレやオートバイ隊などによる被害情報収集、地域住民による声かけや初期消火等の初動活動 (2) 液状化等の対応による現場進入、放置車両の移動などの道路啓開、阻害となる倒壊家屋の解体除去 (3) 被災現場での要救助者の捜索、倒壊建物や多重事故車両、高層建物等からの被災者の救出救助 (4) 海上捜索・救助、海上からの部隊輸送、洋上医療拠点（海自艇等）の設置・応急救護 (5) 応急救護所の設置、傷病者のトリアージ・応急救護、ヘリ等による広域医療搬送 3 避難所運営訓練 <ul style="list-style-type: none"> (1) 自主防災組織を中心とした避難所運営演習（要配慮者対応、支援物資の配布、ペット同行避難等含む） (2) 外国人等の避難所宿泊 4 ボランティアセンター運営訓練 <ul style="list-style-type: none"> (1) 被災地ボランティアセンターの設立・支援、ボランティアの受け入れ 5 物資輸送訓練 ※市庁舎ほか <ul style="list-style-type: none"> (1) 拠点施設の選定、救援物資の受け入れ・仕分け、避難所毎ニーズの集約・分配 (2) 県備蓄物資のプッシュ型支援、救援物資の輸送 6 多数遺体取扱訓練 <ul style="list-style-type: none"> (1) 遺体安置所の設営や検視（死）・検案、身元確認及び遺族対応 7 防災フェア <ul style="list-style-type: none"> (1) 防災に関する啓発、展示や実験・体験学習（消火・煙避難など） (2) ライフラインの応急復旧・被災建築物応急危険度判定の実演 <div style="float: right; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【政府連携訓練】 (1) 情報共有（テレビ会議） (2) 政府調査団の現地派遣 (3) 政府関係者の巡視・体験 </div>

第40回九都県市合同防災訓練（中央会場） <訓練項目と実施日>

項目	主な内容	主体	8/24 土	8/25 日	8/26 月	8/27 火	8/28 水	8/29 木	8/30 金	8/31 土	9/1 日
1	情報伝達・身体防護訓練	千葉県 船橋市						リハ			本番
2	実動訓練	千葉県 日赤						リハ			本番
3	避難所運営訓練	船橋市									
4	ボランティアセンター運営訓練	県災ボラ 市社福							※リハーサルの実施は要検討		
5	物資輸送訓練	船橋市									
6	多数遺体取扱訓練	船橋市									
7	防災フェア	千葉県									
他	県市・政府連携訓練	内閣府 千葉県 船橋市						リハ			本番

訓練会場（高瀬町運動広場ほか）周辺図



3. 市が実施する訓練について

ア. 避難所運営訓練

1. 訓練目的

過去の震災の課題等から、住民主体の避難所運営の重要性が高くなっており、発災数時間における住民主体の避難所の開設・運営体制の確立を目的として、町会・自治会、県、学校、各関係団体と協力しながら、「船橋市避難所運営マニュアル」に基づき、実践的な避難所運営訓練を実施する。

2. 日 時

令和元年8月25日（日）午前9時00分～12時00分
（運営役…8時45分集合、12時15分解散、避難者役…10時集合、12時解散）

3. 訓練会場（避難所）

船橋市立船橋中学校（船橋市夏見2丁目11番1号）

4. 想定地震

午前8時に千葉県北西部直下を震源とする M7.3 の大地震が発生し、船橋市で震度6強を観測

5. 訓練参加者（※敬称略）

（1）町会・自治会、自主防災組織（船橋中学校周辺の町会・自治会）

（2）船橋中学校の教職員・生徒・PTA

（3）協力関係団体

千葉県助産師会、千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会(C-RAT)、東日本電信電話(株)千葉事業部、(株)NTTドコモ、(公社)SL 災害ボランティアネットワーク、京葉地域獣医師会、船橋市障害福祉団体連絡協議会、日本防災士会千葉県北部支部、(一財)J-HANBS、船橋防災連絡会、(一社)日本福祉用具供給協会

（4）県職員（防災政策課、障害者福祉推進課、建築指導課）

（5）市職員（船橋中学校避難所参集職員、障害福祉課、動物愛護指導センター、建築指導課、危機管理課）

6. 訓練項目

（1）避難所開設・運営訓練

避難所施設点検・受付・誘導・居住区割り・避難者カードの記入など

（2）障害者団体との避難所運営訓練

要配慮者の受付・誘導・要配慮者カードの記入など

（3）ペット同行避難訓練

ペット同行避難者の受付・誘導・飼主への講習など

(4) 支援物資配給訓練

避難所に搬入された支援物資（食料・飲料水等）を避難者へ配給する訓練

(5) 無線通信訓練

防災MCA無線を活用した通信伝達訓練（避難所←→災害対策本部）

(6) 要配慮者安否確認訓練（名簿消込作業）

避難行動要支援者名簿（訓練用）を用いた消込作業

7. その他の訓練

避難所宿泊訓練（主催：船橋市国際交流協会）

(1) 訓練目的

船橋市国際交流協会主催である「災害時外国人支援サポーター養成講座」の一環として行うもので、協会と市が協力して、平成20（2008）年より、市総合防災訓練の時期に合わせて、避難所宿泊訓練を実施している。

(2) 訓練日時

令和元（2019）年8月24日（土）午後1時から25日（日）午前9時

(3) 訓練会場

船橋市立船橋中学校（船橋市夏見2-11-1）

(4) 訓練参加者

1 市内在住外国人

2 船橋市国際交流協会

3 関係団体

船橋市（共催）、一般財団法人自治体国際化協会（後援）

NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会（協力）

(5) 訓練内容

訓練当日、教室棟で「災害多言語支援センター設置・運営訓練及び避難所巡回訓練」、武道室で「避難所宿泊訓練」を同時進行で行う。

イ. 物資輸送訓練

1. 訓練目的

熊本地震で初めてプッシュ型支援による支援物資供給が実施されたが、発災直後に物資支給が滞ったという課題を踏まえ、支援物資の受入れ・管理体制などを確立することを目的とし、「船橋市地域防災計画」、「地震災害時 職員行動マニュアル」に基づいて各協定先・関係団体と協力しながら、支援物資の搬入・搬出を実践的に行うものとする。

2. 日 時

令和元年 8 月 24 日（土）午前 9 時 00 分～12 時 00 分

令和元年 8 月 25 日（日）午前 9 時 00 分～12 時 00 分

3. 訓練会場

船橋市行田備蓄センター（船橋市行田 2-8-10）

4. 想定地震

千葉県北西部直下を震源とする M7.3 の大地震が発生し、船橋市で震度 6 強を観測

5. 訓練参加者（※敬称略）

（1）船橋市災害対策本部・本部統括班、第 1 供給班、第 3 供給班

（2）協力関係団体

千葉県トラック協会・千葉県倉庫協会・千葉県トラック協会船橋支部（以下、トラック協会船橋支部）・赤帽首都圏軽自動車運送協同組合千葉県支部（以下、赤帽）

6. 訓練項目

（1）災害時輸送拠点

- ・行田備蓄センターを災害時輸送拠点として開設
- ・備蓄品の受け入れ・管理
- ・備蓄品の配送準備

（2）災害対策本部

- ・各協定先や行田備蓄センターとの連絡体制の確立
- ・避難所・協定先・物資配送拠点との連絡調整

ウ. 多数遺体取扱訓練

1. 訓練目的

本訓練は、第40回九都県市合同防災訓練において、多数の死者を伴う大規模災害の発生に際し、警察、市及び関係機関等と連携して、迅速かつ的確な遺体収容所の設置と運営ができるよう練度向上を図る。

2. 日 時

令和元年8月25日（日）午前9時00分～12時00分

※関係職員研修会（8月1日（木））、リハーサル（8月22日（木））に実施

3. 訓練会場（避難所）

船橋市立看護専門学校（船橋市金杉1-28-7）

4. 訓練想定

千葉県北西部直下を震源とするM7.3の大地震が発生し、船橋市では震度6強を記録するとともに、強い揺れによる建物倒壊や液状化による道路損壊等が多数発生、下水道を含むライフライン機能も麻痺している状況にある。また、倒壊家屋等の影響により、多数の遺体が発見され、遺体安置所である看護専門学校に遺体が運び込まれることとなった。

5. 訓練参加者

- (1) 船橋市（危機管理課、環境部、地域福祉課、生活支援課、看護専門学校、医療センター）
- (2) 千葉県
- (3) 千葉県警察本部（警務部警務課被害者支援室、刑事部捜査第一課、刑事部鑑識課、警備部警備課、船橋警察署、船橋東警察署）
- (4) 千葉県医師会
- (5) 船橋市医師会
- (6) 千葉県歯科医師会
- (7) 船橋歯科医師会
- (8) 千葉大学附属法医学教育研究センター
- (9) 初富保健病院
- (10) 千葉中央葬祭業協同組合
- (11) 全日本冠婚葬祭互助協会（(株)セレモ）
- (12) 一般財団法人日本DMORT

6. 訓練項目

- (1) 多数遺体検視場所兼遺体安置所の設置訓練【船橋市、千葉県警察本部】
遺体安置所内にあるテーブル、椅子などの既存資機材を活用した設置訓練
- (2) 多数遺体取扱訓練
 - ①遺体受付、検視前遺体安置所、検視・検案場所、歯科医身元確認場所、遺族受付所の設営【千葉県警察本部、船橋市】
 - ②遺体搬入時の受付【千葉県警察本部、船橋市】
遺体搬入責任者からの遺体の引き継ぎ時における関係書類の作成と確認
 - ③検視、検案【千葉県警察本部、千葉県医師会、船橋市医師会、
千葉大学附属法医学教育研究センター】
検視・検案業務、遺体取扱上の留意点等
 - ④身元確認【千葉県警察本部、千葉県歯科医師会、船橋歯科医師会、
初富保健病院】
歯牙所見、指紋照合等による身元確認作業
 - ⑤遺族対応【船橋市、千葉県警察本部、一般財団法人日本DMORT】
遺族感情を考慮し、身体特徴・所持品・衣服など、身元特定に至る事項の聴取を行い、遺体の取り違え事案の絶無
 - ⑥遺体の引渡し【船橋市、千葉県警察本部】
顔貌、身体特徴、所持品などによる身元特定経過の説明と遺体の引渡し手続き
 - ⑦遺体の納棺【千葉県警察本部、千葉中央葬祭業協同組合、
全日本冠婚葬祭互助協会((株)セレモ)】
遺体の納棺時における留意事項